

町田第三小学校跡地活用検討について

本町田地区の新たな学校づくりで 2028 年度に学校跡地となる町田第三小学校の次の活用について、2021 年 5 月に策定した「町田市新たな学校づくり推進計画」にもとづく新たな学校づくりの基本計画の検討着手とあわせて、2022 年度から検討を進めています。

学校は、災害時の避難施設や地域の状況に応じた地域の活動の場としても身近な場所です。そのことを踏まえ、「学校跡地の活用に関する基本的な考え方」に基づき、検討を進めています。

1 町田第三小学校跡地活用の進め方

町田第三小学校跡地活用については、以下のスケジュールで検討を進めています。

(1) 活用開始までのスケジュール



(2) 2024 年度の検討状況

8 月	○町田第三小学校跡地活用等に関する市民アンケート実施 本町田周辺にお住まいの方を対象に、無作為に 1,000 人の方を抽出し、活用の方向性や導入が望まれる機能についてのアンケートを実施。回答数は 270 件。  アンケート結果（抜粋） ● 跡地にあるとよい施設や機能・サービスは？ ・くつろげる場所、自然と触れ合う場所：公園、町田シバヒロのような場所、散策コース等 ・子どもが集まる場所：子ども食堂、子どもの居場所、中高生が勉強できる場所等 ・防災拠点：避難施設、仮設住宅、キャンプ場等 ● 町三小跡地活用の検討で留意すべきことは？ ・防災機能の確保、近隣住民の住環境への配慮、地域活動・地域コミュニティへの配慮、市の財政負担の軽減
10 月 ～2 月	○町田第三小学校跡地活用ワークショップ開催（全 3 回、10/19、12/14、2/8）【資料 4 参照】 跡地活用イメージやアイデアを考え、グループごとにコンセプト案をまとめてもらうワークショップを開催。町田第三小学校周辺にお住まいの方、跡地で活動を行いたい方など延べ 44 名の方が参加。   ワークショップの様子

2 跡地活用の方向性（素案）

2024 年度の市民アンケートやワークショップの検討内容、及び連絡協議会の皆様のご意見等を踏まえ、町田第三小学校跡地の活用方向性の整理を進めます。現状の素案は以下のとおりです。【資料 3 別紙参照】

活用方向性素案

- ① 地域のイベントや多目的に利用できる広場空間
- ② さまざまな体験・活動ができる広場空間
- ③ だれでも利用でき、みんながつながれる地域の居場所
- ④ 地域の在宅避難者を含めた防災の拠点

3 2025 年度の取組予定

町田第三小学校跡地活用の方向性の整理に向け、以下のとおり取り組みます。

	項目	時期	内容
1	町田第三小学校跡地活用連絡協議会	6/24、9/19、12 月、2 月を予定	町田第三小学校周辺の町内会自治会などの地域を代表する方に、活用検討状況を共有するとともに、跡地活用に関する意見交換を行うため、年 4 回程度開催します。
2	サウンディング型市場調査（民間事業者ヒアリング）	6/16～7/18	市民サービスの向上や安定的な財源確保の観点から、民間活力導入による整備・管理の可能性等を調査します。
3	跡地活用の方向性を検討、決定	9 月頃	2024 年度実施の市民アンケートやワークショップの結果、連絡協議会の皆様のご意見、サウンディング型市場調査結果等を踏まえ、活用の方向性を検討、決定していきます。
4	市民ワークショップ	10 月～11 月頃	2024 年度に引き続き、地域の皆さまの理解を得ることや、実際の活用にあたって意欲を高めることを目的としたワークショップを開催します。
5	「町田第三小学校跡地活用コンセプトブック（仮称）」策定	3 月	活用の方向性を誰でも簡単にイメージできるように、<u>コンセプトや導入機能、ゾーニングなどの活用の方向性を視覚的にデザインした「町田第三小学校跡地活用コンセプトブック（仮称）」</u>を策定します。 参考 コンセプトブックイメージ  いけぶくろワークブル CONCEPT BOOK